



READ Me



ネットワークから最新のソフトウェアをダウンロードできることは、インターネットの大きな魅力の1つです。このコーナー「READ Me」では、ネットワークから入手できる最新のソフトウェアに焦点をあてて、必ず役に立つ情報満載でお届けします。まずは今月の注目ソフトから。

HOTTEST TOOLS
今月の注目ソフト
best 5

HOTTEST TOOLS

e-Parcel クライアント Ver.2.3



動作環境

OS : ウィンドウズ95/98、NT
種別 : クライアントソフト無償配布
作者 : 豊田通商株式会社
CD-ROM収録先 : Win Eparcel
関連ページ : <http://www.e-parcel.ne.jp/>



e-Parcelはインターネットを利用して、安全で確実に大量のファイルをやり取りするのに便利なサービスだ。通常、インターネットを使ってデータファイルを送信する場合、電子メールにファイルを添付するか、FTPサーバーにデータを置いて、それを相手にダウンロードしてもらうのが一般的だろう。しかし、電子メールで大量のファイルをやり取りするのは効率が悪く、また、FTPを利用する場合は、FTPサーバーを設置しなければならず面倒だ。e-Parcelクライアントは宅配便と同じような

仕組みで、データの送受信が可能なソフトウェアだ。e-Parcelはデータの集配を行うe-Parcelサーバーとユーザーが利用するe-Parcelクライアントの2つで構成されている。データを送信するにはe-Parcelクライアントを利用してサーバーに送りたいデータをアップロードする。データを受信するにはe-Parcelクライアントを起動しておくだけで、e-Parcelクライアントが定期的にサーバーにアクセスし、自分宛のデータが届いていないかをチェックし、データが届いていた場合にはダウンロードが開始される。その際、データは暗号化されて送信されるため途中で盗聴や改ざんをされる心配もない。また、送信側では、受信相手がデータをダウンロードしたかなどを確認することもできる。データの配送料金は、150Kバイトまでのファイルは無料、1.5Mバ

イトまでが150円、10Mバイトまでが300円といった料金体系になっており、これはデータを送信する側が負担する。



HOTTEST TOOLS

WebDrive Ver.2.0



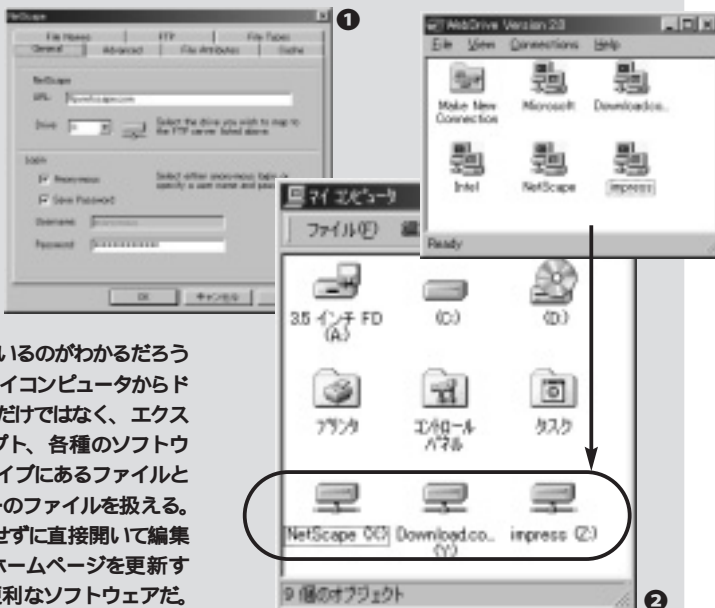
動作環境

OS : ウィンドウズ95/98
種別 : シェアウェア 39.95ドル
作者 : RiverFront Software.
関連ページ : <http://www.riverfrontsoftware.com/>



WebDriveはFTPサイトを自分のコンピュータのドライブのように扱えるFTPクライアントソフトだ。使い方は、ダイヤルアップネットワークを設定するのと同じようにあらかじめ指定したFTPサーバーを登録し、どのドライブに割り当てるかを指定するだけだ(画面①)。設定は、FTPサーバーにログインする際のユーザーネームやパスワードの指定、パーミッションなど細かく指定ができる。設定が完了した

ら、マイコンピュータをダブルクリックしてみよう。ネットワークドライブの割り当てをしたように、設定したFTPサーバーがドライブとして割り当てられているのがわかるだろう(画面②) もちろん、マイコンピュータからドライブとして認識されるだけではなく、エクスプローラやDOSプロンプト、各種のソフトウェアからもローカルドライブにあるファイルと同じようにFTPサーバーのファイルを扱える。ファイルをダウンロードせず直接開いて編集や保存ができるので、ホームページを更新する際などに利用すると便利なソフトウェアだ。



HOTTEST
TOOLS

検索ランチャー菜

Ver.3.19



動作環境

OS : ウィンドウズ95/98、NT4.0

種別 : シェアウェア 1,500円

作者 : Yuchan

関連ページ : <http://www2.tky.threewebnet.or.jp/~abcroom/siori3/siori.htm>

Win

検索ランチャー菜は、インターネットに対応したランチャーソフトだ。単なるランチャーソフトとして各種のソフトウェアを登録するだけではなく、ファイルやURLの登録もできるのが特徴だ。登録したソフトウェアやファイル、URLなどは利用した順に並べ替えられる

ため、よく利用するソフトウェアやURLが常に簡単に呼び出せる点がうれしい。「検索ランチャー」とうたっているように、このソフトウェアでは登録したファイル名やホームページのタイトル、URLなどを検索する機能が付いている。

WWWブラウザのブックマークに数多くのホームページを登録した場合、その中から表示させたいホームページを見つけるのは困難だ。検索ランチャー菜を利用すれば登録したホームページのタイトルやURLを検索できるので簡単に表示させたいページを見つけられる。そのため、WWWブラウザのブックマ



ークの代わりとして利用するのもいいだろう。Ver.3.0からは、インターネットの検索サイトをこのソフト上から利用する機能も搭載された。これは、あらかじめ利用したい検索サイトを登録しておくことで、検索ランチャー菜の文字列入力欄が検索サイトのキーワード入力欄の代わりになるというものだ。検索結果はWWWブラウザで表示される。

HOTTEST
TOOLS

WinZip

Ver.7.0J



動作環境

OS : ウィンドウズ95/98、NT4.0

種別 : シェアウェア 4,000円

作者 : Nico Mak Computing, Inc.

CD-ROM収録先 : Win Winzip

関連ページ : <http://www.winzip.com/>
<http://www.panda.co.jp/products/winzip/wz70dl.htm>

Win

ウィンドウズ用ファイル圧縮・展開ソフトの定番ソフトウェア「WinZip」がバージョンアップしてWinZip7.0Jとなった。今回のバージョンアップで追加された主な機能は、ウ

ィンドウズ98のようなシングルクリックのインターフェイスが選択できるようになった点や、マイクロソフト社のソフトウェアでよく利用されているCAB形式の圧縮ファイルをサポートするようになった点だ。ただし、CABファイルのサポートはファイルの展開のみとなっており、圧縮をすることはできない。ツールバーのカスタマイズやメインウィンドウ内のファイルを名前順やファイルサイズ順に並べ替えられるようになるなど、細かい点も改良されている。また、複数のフロッピーディスクに分割して自己展開形式のファイルを作成できるようになったため、1枚のフロッピーディスクに入りきらな



い大きなサイズの圧縮ファイルも簡単に分割して保存できる。

HOTTEST
TOOLS

Winamp

Ver.2.091



動作環境

OS : ウィンドウズ95/98、NT

種別 : シェアウェア 10ドル

作者 : Nullsoft, Inc.

CD-ROM収録先 : Win Winamp

関連ページ : <http://www.winamp.com/>
<http://www.shoutcast.com/>

Win

Winampは、わかりやすいインターフェイスと機能を拡張できるプラグインが豊富なことで人気のMP3プレイヤーだ。曲ごとに設定できるイコライザー機能やWinampの外観を変更できるスキン機能などを備えており、ウ

ィンドウズ用MP3プレイヤーとしては定番中の定番ソフトウェアだろう。対応するファイルはMP3だけではなく、音楽CDやWAVファイル、MIDIファイルなども再生できる。このWinampが「SHOUTcast」と呼ばれるMP3ファイルをストリーミング配信するシステムに対応した。SHOUTcastはWinampの開発元と同じNullsoft社が開発したシステムで、WinampでMP3のストリーミ



ング放送を再生するには、サーバーのIPアドレスとポート番号を入力するだけで、MP3のストリーミング放送を行っているサーバーはSHOUTcastのホームページ(<http://www.shoutcast.com/>)で数多く紹介されているので、それらの中から好みのサーバーを選択するとい



Let's Try!



「便利なソフトがあるみたいだけど、使い方がよくわからない」とか、「英語版のソフトを使ってみたいけど、英語が読めないからちょっと……」などと思っている人はいませんか？ このコーナーでは、そんなあなたのためにフリーソフトウェアやシェアウェアのインストール方法からソフトウェアの活用方法までしっかり解説いたします。

今月の徹底解説ソフト

Explzh ver.2.73

Explzh はウィンドウズのエクスプローラのようなインターフェイスのファイル圧縮・展開ソフトです。LZH、ZIP、TAR、CABなど、各種のファイル形式の圧縮・展開、MIME(Base64)やUUEncodeでエンコードされたファイルのデコードなどができます。そのほか、自己展開方式の圧縮ファイルが作成できるなど、このソフトさえあればファイルの圧縮・展開で困ることはないでしょう。

動作環境

OS：ウィンドウズ95/98、NT4.0

種別：シェアウェア 1,000円

作者：鬼東裕之氏

CD-ROM収録先：ウィンドウズ版 Win Explzh

関連ページ：<http://village.infoweb.ne.jp/~fwhv5283/>

Win

Explzhをインストールしよう

1

ExplzhはインターネットナビゲーターCDに収録されています。マイコンピユーターを開いて「Apr99_a」「Win」「Explzh」の順にフォルダーを開き、その中にある「explz273.exe」をダブルクリックします。



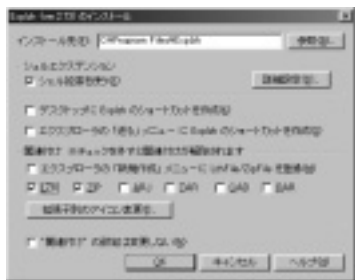
2

Explzhのセットアッププログラムが起動し、ソフトウェアの使用許諾契約の画面が表示されます。よく読んで特に問題がなければ「はい」をクリックします。



3

Explzhをインストールする先のフォルダーを指定します。また、Explzhに関連付けたい拡張子のチェックボックスをチェックします。設定が終了したら「OK」をクリックします。



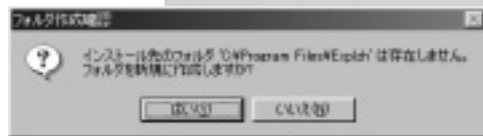
6

正しくインストールが完了すると、デスクトップに「圧縮」と「解凍」の2つのアイコンが作成されます。



4

3で指定したインストール先のフォルダーが存在しない場合、下の画面が表示されます。「はい」をクリックしてフォルダーを作成します。



5

しばらくすると下の画面が表示されます。以上でインストールは完了です。

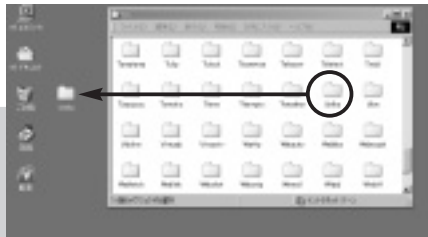




Explzhの セットアップをしよう

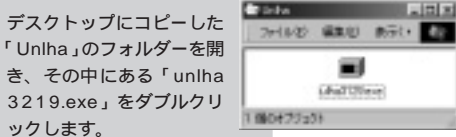
Explzhは、インストールしただけでは利用できません。Explzhでファイルの圧縮や展開を行うにはそれぞれのファイル形式に応じたDLLファイルが必要です。ここでは必要なDLLファイルをインストールする方法を解説します。

1



UNLHA32.DLLはインターネットナビゲーターCDに収録されています。マイコンコンピューターを開いて「Apr99_a」「Win」の順にフォルダーを開き、その中にある「Unlha」フォルダーをデスクトップにコピーします。

2



デスクトップにコピーした「Unlha」のフォルダーを開き、その中にある「unlha3219.exe」をダブルクリックします。

3

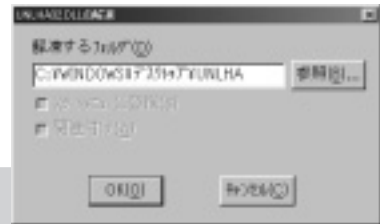


「UNLHA32.DLLの解凍」というウィンドウが表示されます。「はい」をクリックします。

DLLファイルをインストールしよう

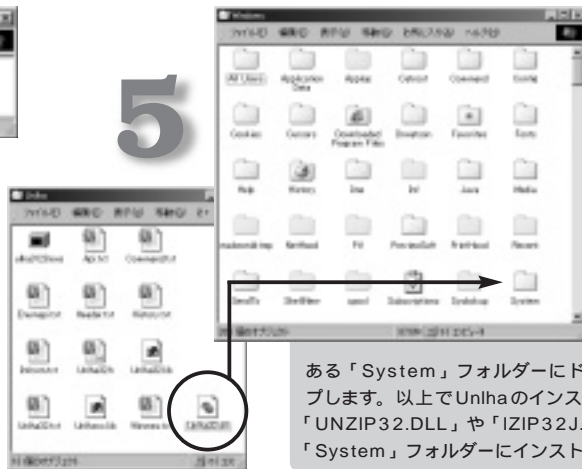
Explzhを利用するには必要に応じたDLLファイルをSystemフォルダーにコピーする必要があります。DLLファイルにはLZHファイルを圧縮・展開するための「UNLHA32.DLL」やZIPファイルを展開するための「UNZIP32.DLL」があり、それらのDLLファイルは、総合アーカイバーホームページ(<http://www.csdinc.co.jp/archiver/>)や窓の杜(<http://www.forest.impress.co.jp/>)でダウンロードできます。また、インターネットマガジンのCD-ROMにも一部収録されています。ここでは、インターネットマガジンのCD-ROMに収録されている「UNLHA32.DLL」をSystemディレクトリーにコピーする方法を紹介しします。

4



ファイルの展開先を指定するウィンドウが表示されます。「OK」をクリックします。

5



デスクトップにコピーした「Unlha」のフォルダーにファイルが展開されます。その中にある「Unlha32.dll」をハードディスクの「Windows」フォルダー内にある「System」フォルダーにドラッグアンドドロップします。以上でUnlhaのインストールは終了です。「UNZIP32.DLL」や「IZIP32J.DLL」も同じように「System」フォルダーにインストールします。

DLLファイルが表示されない場合

右のように「unlha3219.exe」を展開しても「Unlha.dll」が表示されない場合があります(画面①)。これはウィンドウの設定がDLLなどのファイルを表示しない設定になっているためです。DLLファイルを表示させるためには、フォルダーの「表示」メニューから「フォルダオプション」を選択します(画面②)。「フォルダオプション」のウィンドウにある「表示」タグの「すべてのファイルを表示する」(画面③)を選択するとDLLファイルが表示されるようになります。



①



②



③



ファイルの圧縮を マスターしよう

電子メールを送る際などに添付するファイルを圧縮して送信すれば通信費の節約になります。また、圧縮する際には数多くのファイルを1つのファイルにまとめることもできます。まずはファイルの圧縮方法をマスターしましょう。

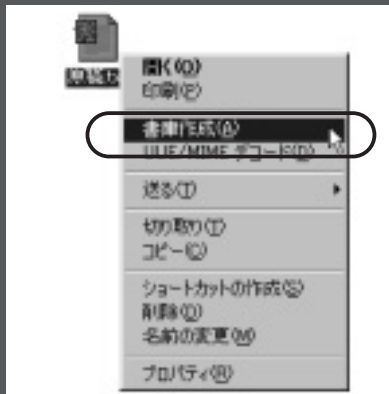
ファイルを追加圧縮する

LZH形式やZIP形式がExplzhに関連付けられている場合、圧縮したファイルに圧縮したいファイルをドラッグアンドドロップすると、圧縮ファイルにファイルを追加できます。



右クリックでも圧縮できる

Explzhでファイルを圧縮するには、「圧縮」アイコンにファイルをドラッグアンドドロップする以外に、圧縮したいファイルを右クリックして表示されるメニューの「書庫作成」を選択するだけでもファイルを圧縮できます。



ファイルを圧縮する

1

ファイルを圧縮するには、デスクトップに作成された「圧縮」アイコンに圧縮したいファイルをドラッグアンドドロップするだけです。1つのファイルを圧縮するだけでなく、複数のファイルを選択して1つのファイルに圧縮したり、フォルダーごとファイルを圧縮したりもできます。



2

ファイルやフォルダーをドラッグアンドドロップすると右のようなウィンドウが表示されます。ここでは、圧縮ファイルのファイル名などの形式でファイルを圧縮するかを指定できます。圧縮形式は標準でLZH形式が選択されています。他の圧縮形式を利用するには、前ページで紹介した各種のDLLファイルをあらかじめインストールしておく必要があります。



3

圧縮が完了すると右下のような「結果ログ」の画面が表示されます。ここでは、元のファイルの何パーセントに圧縮されたかなどが表示されます。「OK」をクリックするとExplzhの画面が表示されます。



4

2で指定した場所に圧縮ファイルが作成されます。拡張子がExplzhに関連付けられている場合、左のようなアイコンの圧縮ファイルが作成されます。





ファイルを展開する

1

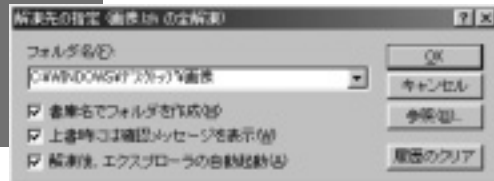
ファイルを展開するには、デスクトップに作成された「解凍」アイコンに展開したい圧縮ファイルをドラッグアンドドロップします。



圧縮ファイルの展開をマスターしよう

インターネットから入手できるソフトウェアやデータファイルの多くはZIP形式やLZH形式で圧縮されています。ここではそれらの圧縮ファイルを展開する方法をマスターしましょう。

2



圧縮ファイルを展開する先のフォルダが表示されます。標準では、デスクトップに圧縮ファイルと同じ名前のフォルダを作成し、その中にファイルを展開するようになっています。ファイルを展開するフォルダを指定する場合は、「フォルダ名」の欄に展開する先のフォルダを入力します。

4



以上で圧縮ファイルの展開は終了

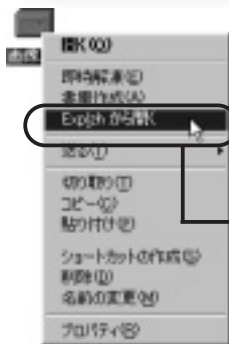
です。展開先のフォルダが作成され、フォルダ内に圧縮されていたファイルがすべて展開されます。

3

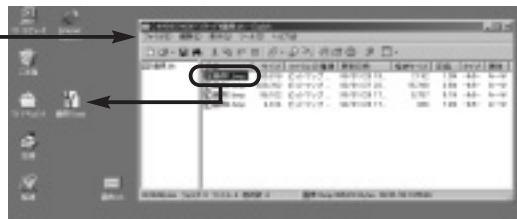
展開する先のフォルダが存在しない場合、右の画面が表示されます。「はい」を選択するとフォルダを作成し、ファイルを展開します。「いいえ」を選択した場合は2の画面に戻ります。



必要なファイルだけを展開する



圧縮ファイルの中には、数多くのファイルをまとめて1つの圧縮ファイルにしたものがあります。ExpLzhではその中から必要なファイルだけを展開できます。



圧縮ファイルの中から必要なファイルのみを展開するには、圧縮ファイルを右クリックして出てくるメニューの中から「ExpLzh から開く」を選択します。すると、ExpLzhのウィンドウが開きます。圧縮ファイルの一覧が表示されるので、その中から必要なファイルをデスクトップなどにドラッグアンドドロップします。

右クリックでも展開できる

ExpLzhでファイルを圧縮するには、「展開」アイコンにファイルをドラッグアンドドロップして圧縮する以外に、展開したいファイルを右クリックして表示されるメニューの「即時解凍」を選択するだけでファイルを展開することもできます。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp